

ふじ むらさき
藤 紫
諫高だより長崎県立諫早高等学校
〒854-0014 諫早市東小路町1番7号
TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104
<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

次世代のために

校長 石部 邦昭

次世代のために

私が小学生の頃、休日になると家族でよく山に行った。山と言っても今流行のレジャー・スポーツとしての登山ではない。山に“仕事”をしに行くのである。山にはテラー（トラクターの前身、当時は乗用車感覚だった）で行き、雑草や雑木の下刈り、そして枝落としなどをした。作業はきつかったが、父母や兄弟での語らいや山での食事は最高に楽しくぜいたく感を味わった。

昨年の正月に久しぶりに兄と現地を訪れた。当時1メートル位の檜の幼木が40年以上の月日を経て立派に堂々とそびえ立っていた。「この木を使って家でも建てるか」兄弟の会話は成人した我が子を見るように、はずんだものだった。

考えてみれば、木が「一人前の柱材」になるのは何十年、種類によっては何百年とかかる。植えた人の代で使うことはめったにない。今植えているのは、次世代のために植えているのである。特に植えた最初の10年間は地味で厳しい作業が続く。それでもいつかは日の目をみるであろうことを期待して植林作業と下草刈りは地味に続けられていく。

立派な檜を見上げながら、植林した父や祖父を思い、不思議な木の世界に思いを馳せた。

温室効果ガス削減

「最近中国の黄砂が頻繁にやってくる」ということを新聞で知った。以前は3月頃に「春の訪れ」を告げるように黄砂は飛んできたが、最近は春と言わず年中飛来し、それも西日本中心から東日本にも広がっているという。言われてみれば思い当たる節がないではない。原因は、中国の砂漠化が進んでいるためとし、牛や羊、ヤギなどの過放牧による草原化・砂漠化によるものと述べている。また、山を切り開いての産業開発も原因と考えられる。

人は便利さ、快適さを求めて、必死に働き技術開発をし、製品を作り上げてきたが、そのことが次世代に大きな禍根を残すという何とも皮肉で割り切れない現象が起きている。しかし、世界中の人達はそのことに憂いを抱き、危機感を募らせ立ち上がった。世界の至る所での植林活動、限りある資源のキャンペーン、そして1997年に先進国等に「温室効果ガス削減」を求めたいわゆる京都議定書が採択された。2008年から2012年までの先進国の平均排出量を90年比5%減らすのが目標で、温暖化を食い止める国際社会の取り組みの第1歩となる。日本は6%の削減目標を義務づけられた。

「知っている」から「実行へ」

ただ、この議定書も最大の排出国、米国が離脱しているとか経済成長でCO2排出が急増している中国やインドなどが削減に参加していないなどの限界もあるが、地球規模でみた場合、そうした国も何らかの国際的貢献をしないと世界から見放されてしまうのは確かである。全世界での取り組みが急がれている。

「資源には限りがある。」「迫る地球環境の危機」「エコライフの実践を」というキャンペーンを「知っているが、実行していない」というCMが最近流されている。

6%の削減の為に企業や商業施設でのCO2排出量を押さえることは勿論だが、国民が日常において工夫・協力することも大事である。例えば、割り箸を使わず「マイ箸」の使用とか、車を使わず徒歩にするとか、こまめな消灯、冷暖房の設定温度を標準よりも夏は高く、冬は低くするとかいろいろと工夫が求められている。紙や本も無造作に棄てられているが、「今棄てたそのゴミ、まだ使えるのではないですか」

便利さと快適さに慣れてしまった我々が、森林破壊、異常気象、温暖化そして砂漠化の現象を打開するエコライフ実践。果たして次世代の為に実行できるか。今試されている。

いよいよ決戦のとき

—大学入試センター試験—

1月19日(土)、20日(日)に、全国各地で下記の日程で大学入試センター試験が行われました。全国で約54万人がこの試験を受験しました。全ての国立大学と多くの私立大学がこの試験の結果を利用した入試を実施しており、この結果が、大学入試の可否を左右すると言っても過言ではないほど重要な試験です。

<19日(土)>

- 9:30~10:30 公民
- 11:15~12:15 地歴
- 13:30~14:50 国語
- 15:35~16:55 英語筆記
- 17:35~18:35 英語リスニング

<20日(日)>

- 9:30~10:30 生物I
- 11:15~12:15 数学I・A
- 13:30~14:30 数学II・B
- 15:15~16:15 化学I
- 17:00~18:00 物理I

本校では、303名が自己の目標達成に向けて受験しました。また、18日(金)の昼休みに、3年生の健闘を祈り、壮行式を実施しました。

1・2年生からの激励メッセージと応援部による応援活動の後、3年生からのお返しのエールがあり、3年生の緊張も少しは解け、本番では平常の力が発揮できたと思っています。

大学入試は、このセンター試験に続いて、私立大学などの入試、来月25日からの国立大学前期試験、3月12日からの国立大学後期試験とこれからがいよいよ決戦のときを迎えます。体調管理をしっかりと、ベストの状態での受験勉強と大学受験を乗り越えて、4月からの新しい生活に向けて頑張ってもらいたいと思います。また、1・2年生もその姿に学び、日々の学習や生活を充実させてほしいものです。



↑大学入試センター試験壮行式

3年生に続こう!

—対外実力—

下記のように、今月末から来月初旬にかけて、1・2年生は3週連続で対外の実力試験を受験します。

3年生は受験本番の時期ですが、1・2年生も3年生の姿に学び、ベストを尽くしてほしいと思います。

<対外実力試験日程>

- 1月26日 県下一斉実力試験
- 2月 2日 進研実力試験
(2年生は3日まで)
- 2月 9日 ハイレベルテスト (希望者)



↑「最後に、先生のパワーを！」(長大にて)

全国高校駅伝結果

—ご協力・応援ありがとうございました。

去る12月23日（日）に京都で開催された全国高校駅伝に、男女とも出場しました。8年連続となる男女出場で、選手たちは懸命に力走しましたが、十分に力を発揮できず下記のような結果になりました。

大会後開かれた報告会では、「次年度に向けて初心に戻り努力する」との力強い決意が述べられました。

今回の大会参加に対して、ご協力、応援ありがとうございました。

<男子>	第33位	2時間09分57秒
区間	選手名	記録（区間順）
1区	小柳 俊介	31分19秒（35位）
2区	寺田 夏生	8分46秒（27位）
3区	小嶺 篤志	25分12秒（26位）
4区	茅原 祐也	25分15秒（37位）
5区	山田 晃成	9分06秒（33位）
6区	山下 展弘	15分17秒（23位）
7区	松本 拓也	15分02秒（12位）

<女子>	第25位	1時間11分41秒
区間	選手名	記録（区間順）
1区	浦川有梨奈	20分18秒（23位）
2区	松本 千尋	14分21秒（40位）
3区	林田詩緒里	10分11秒（17位）
4区	平山 遥子	9分52秒（18位）
5区	中村知加子	16分59秒（23位）



↑
←力走する本校選手

「人生の達人セミナー」を開催

12月8日（土）に、本校体育館において「人生の達人セミナー」として諫早市立図書館長の平田徳男先生にご講演をいただきました。校歌に出てくる「高き心」というテーマで、寒い中でしたが生徒たちに諫早高校の生徒や卒業生として、誇りを持って頑張ってもらいたいと熱く語っていただきました。このセミナーを通じて、生徒たちは日常生活を振り返るよい機会になりました。



↑懸命に声援を送る応援部。好評でした。

幼稚園実習一

「ちっちゃいけれど、元気いっぱい！！」

1年生家庭科の保育分野学習の一環として、今年度も『幼稚園実習』を行いました。11月～12月の間に2～3クラス単位で3回に分かれて訪問し、展望台や上山公園など園外への散歩や、園庭での焼きいも大会に参加するなど、園児の保育補助と観察を行いました。

最初は緊張と遠慮でお互いうまくコミュニケーションがとれませんでした。時間の経過とともに仲良くなり、どんぐりひろいやおんぶ追いかけて遊んだり、シートを広げていっしょにお弁当を食べたりし、楽しく過ごしました。

3時間の実習時間はあっという間に過ぎ、園児達から癒しと元気をもらい、生徒一人ひとりにとって貴重な体験となったようです。

実習後には、生徒手作りのクリスマスカードを送りました。



↑
園児と楽しく過ごす本校生徒
→



一歳末助け合い募金活動一.....

12月中旬に、会計委員会を通じて歳末助け合い募金を行いました。募金活動を通して、生徒たちに「福祉」について考える機会になるようにという目的で、毎年実施している活動です。今年度は、9月の文化祭食物バザーの収益金などを含めて、120,069円の募金が集まりました。集まった募金は、12月26日に「諫早市社会福祉協議会」に渡しに行きました。

歳末助け合い募金を手渡す本校生徒→



<2月の主な行事>

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1日(金) 高校推薦入試 | 25日(月) 国公立大学前期日程入試(3年) |
| 2日(土) 対外実力(1、2年) | 22日(金) ~ |
| 12日(火) 校内マラソン大会(1、2年) | 29日(金) 学年末考査(1、2年) |
| | 3月1日(土) 第60回生卒業式 |